



[氏名] 村上 健一郎、1955 年生

[現職] 法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授

[職歴] 1981-1985 日本電信電話公社 電気通信研究所
1985-1989 NTT 基礎研究所(日本電信電話株式会社に改組)
1989-1995 NTT ソフトウェア研究所 主任研究員
1990-1992 宇都宮大学工学部特別講義非常勤講師
1995 東京大学大学院工学研究科非常勤講師
1995-2004 NTT ソフトウェア研究所および未来ねっと研究所 主幹研究員/リーダー
2004 NTT 先端総合技術研究所/未来ねっと研究所 企画部 主幹研究員
2005 法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授
2006- 独立行政法人 情報通信研究機構 外部評価委員会 新世代ネットワーク領域 副委員長
2007-2011 同 委員長
2010- 独立行政法人 情報通信研究機構 高度通信・放送研究開発委託研究 評価委員

[研究開発歴] 大型計算機のオペレーティングシステムの開発に従事、日本初の TCP/IP プロトコルをオブジェクト指向で実装し ARPA Internet との接続に成功、初の太平洋を越えるインターネット接続に成功、超高速インターネットおよび超高速多重アクセスプロトコルの開発に従事、現在、高速経路制御アルゴリズムおよび新世代インターネットプロトコルを研究中。

[学会] ACM, 情報処理学会、電子情報通信学会、ソフトウェア科学会、日本ベンチャー学会

[受賞歴] 1991 年 第 6 回 元岡賞
1996 年 情報処理学会 Best Author 賞
2002 年 日経 BP 技術賞 情報通信部門賞

[著作] はやわかり TCP/IP 1991 年 共立出版 (共訳)
インターネット縦横無尽 1994 年 共立出版 (共訳)
インターネット 1994 年 岩波書店

[学歴] 1979 九州大学工学部卒業
1981 九州大学大学院工学研究科修了
2003 博士(情報科学) (早稲田大学)

[研究業績・社会活動等報告書]

1. 研究業績

- 1) 佐藤進也, 風間一洋, 福田健介, 村上健一郎, “実世界指向 Web マイニングによる同姓同名人物の分離”, 情報処理学会論文誌, データベース, Vol.46, No.SIG8(TOD26)pp.26-36, 2005年8月
- 2) 佐藤進也, 風間一洋, 福田健介, 村上健一郎, “実世界指向 Web マイニングの提案とその同姓同名人物分離問題への適用”, 日本データベース学会, DBSJ Letters, Vol.3, No.4, pp.21-24, 2005年4月
- 3) Susumu SHIMIZU, Kensuke FUKUDA, Ken-ichiro MURAKAMI, and Shigeki GOTO, “Traffic Matrix Estimation Using Spike Flow Detection”, IEICE Trans Commun., 2005, E88-B, pp.1484-1492, 2005年4月,
- 4) 村上健一郎 et al: “フリースケールネットワーク方式”, 情報処理学会研究報告 2007-OS-104(12)PP.81-pp.88 2007年1月
- 5) 片山忠和, 廣津登志夫, 福田健介, 明石修, 菅原俊治, 村上健一郎, "フリースケールネットワーク方式の予備評価 - 仮想アドレス使用量の予測", JSSST WIT 2008 論文集 (ISSN 1341-870X, Web post-proceedings), 2008年

2. 社会活動

(1) 外部研究機関の研究員

なし

(2) 外部機関の理事等

(社) オープンフードサービスコンソーシアム 理事

(3) 外部の委員会

独立行政法人情報通信研究機構 高度通信・放送研究開発委託研究 評価委員

3. その他

なし